

内子ねき歩き参加者募集中!

ねき歩き専用ガイドがご案内するまち歩き。暮らす人がいる分だけ、独自の文化や歴史があります。楽しく、ゆっくりと、内子の魅力を紐解くねき歩き。皆様の参加をお待ちしています!

申し込みはホームページから!

ねき歩き で検索!

www.we-love-uchiko.jp/stroll/stroll4/

※詳しくは内子町公式観光サイト「内子さんぽ」をご覧ください。

内子さんぽ で検索!

www.we-love-uchiko.jp/

まち歩きアプリのご案内



ねき歩き全コース上で
ナビゲーションサービス
をご利用いただけます。



QR Translator



Scan to get the info in
your own language.

TOUR 06

Uchiko Guide Tour #06

Ikazaki

Ōzu Washi was designated as a national traditional craft, and still now, good quality paper is made by hand by excellent Japanese paper craftsman.



和紙の里 いかざき コース

内子ねき歩き





専属ガイドツアー
内子ねき歩き

和紙の里 いかざきコース

風文化を紹介する五十崎風博物館を出発して、一級河川の支流である清流「小田川」の川べりを歩きながら、いかざきの和紙にふれるコース。長い月日を経て、今もなお紡がれる和紙の文化や技術、そして酒造りへと話題が広がります。専属ガイドと歩くコースの終盤では、和紙を使ったお酒のラベル作りとお酒選びが待っていますよ。

所要時間 90分 距離 1.2 km

参加費 お1人様 3,000円
(★ねき歩きプレゼントとして、手作りラベル付地酒(720ml)、五十崎風博物館入館料、ガイド料を含みます)

定員 1~15名

集合場所 五十崎風博物館前
(内子町五十崎甲1437)

集合場所までのアクセス
①JR内子駅からタクシーで約6分、レンタサイクルで約10分。
②内子・五十崎ICから車で約5分。ICより国道56号線を左折し大洲方面へ。

※お車でのお越しの際は、五十崎風博物館の駐車場をご利用ください。
※集合場所の位置は中面マップに記載しております。

申込方法 内子町公式観光サイトの「おさんぽコース(ガイド付き)」を確認の上、ホームページからお申し込みください。
www.we-love-uchiko.jp/stroll/stroll4/

ねき歩き で検索!

問い合わせ先 ①内子町ビジターセンター(A・runze)
☎0893-44-3790
FAX0893-44-3798

〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子2020番地
開館 9:00~16:30(4~9月17:30) 木曜休館

散策の際には歩きやすい服装と靴でどうぞ。
また、車などに充分注意し、各自で責任を持って行動してください。

「ねき歩き」とは？
「ねき」とは、内子の方言で「近く」「近場」のこと。近くの小エリアを愉しむ新たなまち歩きです。

Neki Aruki♪



内子ねき歩き嘶

世界にひとつだけの組み合わせ

和紙とギルディング

語り手 株式会社五十崎社中代表取締役

齋藤宏之さん

国の伝統的工芸品である大洲和紙とフランスの金箔技法ギルディング。この2つの異なる伝統技法を融合させたギルディング和紙は、弊社でしか作っていないユニークな技法です。平成21年(2009)より4度、パリ・メゾン&オブジェという国際的なインテリア系の展示会に出展したり、平成29年(2017)には、パリで開かれた和紙のアートショーに参加しました。パリでは紙が好きな人が多く評判はいいのですが、商売との連結はこれからです。起業のきっかけは、平成20年(2008)から2カ年計画で内子町商工会が行った中小企業庁支援「VPMZ」ブランド事業。五十崎の手漉き和紙を使った製品の製造と販売を行う会社として立ち上げました。フランス人の技術指導者ガボー・ウルヴィツキー氏に、マンツーマンでギルディングの技術指導を

受け修行しました。

商品は、壁装飾やタペストリーなどに施した室内装飾材としてのギルディング和紙や、柿渋染め和紙を裏打ちしギルディング施工した名刺入れなど各種あります。平成29年(2017)には、アートディレクター内田喜基氏と手を組み、トンボの羽根、蛇の鱗など、脱皮を繰り返して成長する生き物の柄をアレンジした新商品を発表。また、道後温泉から依頼を受け、ギルディング和紙の文様が浮かび上がる和紙天吊シールドやランブシエードを制作したところです。

企業理念は「南予から匠の花で産業を！」。大洲和紙の新たな用途、和紙産業の活性化を広く国内外にアピールしたいと考えています。小回りの利くところが生き残りの武器。五十崎社中ヨーロッパ支所ができる日も、そう遠くないと確信しています。



一枚一枚の和紙に施されるギルディング

和紙の里いかにぎコース

④「大洲和紙」と天神産紙工場

大洲藩の和紙生産が盛んになったのは、宝暦年間(1751~1764)に、楮や和紙の生産販売が藩の統制下に置かれてからといわれます。大洲和紙は昭和52年(1977)、国の伝統的工芸品として指定されました。今もなお、清流小田川の水を使った伝統技法「流し漉き」で作られています。

天神産紙工場では、書道用紙や障子紙、美術紙など和紙全般を取り扱っており、製造工程の見学や紙漉き体験(平日、予約制)もできます。
★ねぎ歩きツアープレゼントの地酒ラベルを和紙で作ります。



ゴール

⑤千代の亀酒造

享保元年(1716)に創業した酒蔵で、300年以上語り継がれてきた酒造りがこの地にあります。平成26年(2014)、現在の場所に酒蔵を移転し、先代からの思いを引き継ぎながら、地元の米、水、風土にこだわりの酒造りを行っています。「酒造りは風土から醸し出される感動のドラマ」という理念の元、新商品開発や海外展開などの挑戦も始まっています。酒蔵の見学や酒造り体験もできます。(11月から3月、要予約)
★ねぎ歩きツアープレゼントの地酒をこちらで選びます。

村上邸

地理学者の村上節太郎氏(1909~1995)の生家

③一本榎

町指定天然記念物

豊秋河原に一本の大きな榎があります。高さ12m、幹周3.4m、樹齢は推定250年以上。昭和50年代後半から始まった住民による小田川保全運動により、堤防の樹木や河畔林の景観が守られてきました。



五十崎社中

シヨールーム

豊秋橋

小田川

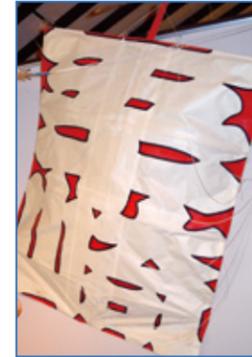
オーベルジュ内子

内子町立五十崎小学校

スタート(集合場所)

①五十崎凧博物館

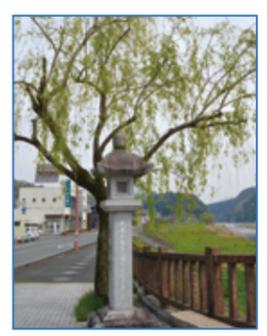
五十崎凧博物館では、日本各地及び世界各国の凧が展示され、凧揚げや凧づくりも体験できます。また、若くして戦死した洋画家上岡美平(1910~1937)の作品も鑑賞できます。鎌倉時代に始まったと伝わる「いかさ大凧合戦」に関わる資料も展示され、凧と和紙の文化にふれあうことができる拠点です。



合戦用大凧(縦165cm×横135cm)

②句碑めぐり

俳人正岡子規や高浜虚子など、凧に関わる俳句が刻まれた句碑が点在。豊秋橋のたもとには、正岡子規の句碑があります。「大凧に近よる鳶もなかりけり」



ねぎ歩きコース内スポット
その他のスポット

フィットネスクラブ RYUOW

龍王公園

宇都宮神社

宗光寺

ふるさとステーション